

令和４年度 第１回 東成区区政会議（保健福祉部会）

1 開催日時 令和４年８月４日（木） 19時00分から20時20分まで

2 開催場所 東成区役所 301会議室

3 出席者の氏名

【委 員】

若村 幸枝（部会長）、小泉 いと子（副部会長）、石川 ヤエ子、岩崎 忠美、
大西 田鶴子、萩原 辰男、東 寿美子、三浦 秀章、宮居 康夫

【東成区役所】

御栗 一智（東成区長※）、平田 忠弘（東成区副区長※）、
仲埜 康代（総合企画担当課長）、平井 和人（保健福祉課長）、
世古 美弥子（児童・保健担当課長）、遠藤 裕介（総合企画担当課長代理）、
三上 有香（保健福祉課長代理※）、馬場 淳子（保健福祉主幹※）

※オンライン出席

【市会議員】

川嶋 広稔

4 委員に意見を求めた事項

・令和３年度東成区運営方針の振り返り等について

5 議事内容（発言者氏名及び個々の発言内容）

○遠藤総合企画担当課長代理 皆様、本日はお忙しい中、東成区区政会議保健福祉部会に御出席を賜りまして、ありがとうございます。

ただいまから、令和４年度第１回東成区区政会議保健福祉部会を開催いたします。

私は、東成区役所総務課総合企画担当課長代理の遠藤でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。

なお本日の部会につきましては感染対策の一環として、一部オンラインでの開催とし、区長を初め一部の職員はオンラインで参加させていただいております。

まず冒頭に、区長の御栗よりオンラインで御挨拶させていただきます。

○御栗区長 皆様、こんばんは。区長の御栗でございます。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

本日が、今年度初めての保健福祉部会となります。保健福祉部会では、健康づくりや高齢者や障がいをお持ちの方々などへの見守りの分野につきまして御意見や御提案をいただく会議でございます。

今回の議題は、前年度事業の振り返りとなっております。それぞれの事業の課題も含めて御議論いただければと思います。

前回の区政会議で皆様に御意見をいただきました、「東成区将来ビジョン ＲＯＡＤ ＴＯ ２０２５」を今年の４月からスタートしております。今回の資料ではお手元に配っておりませんが、一応こういう形でうりちゃんを表紙に使いながら、お手元に配っていませんけども区役所のホームページに載せておりますので、お時間がある時にぜひ見ていただければと思いますのでよろしくお願いしたいと思います。

御存知のとおり 「ＲＯＡＤ ＴＯ ２０２５」ということで、２０２５年へ向けてということなので４年間の計画になっておりますけれども、２０２５年は御存知のとおり大阪・関西万博が開催されますことや、東成区制の、私たち東成区の区制１００周年という節目の年にも当たります。今後の万博のメイン、中心の開催目的として掲げられておりますＳＤＧｓの達成に向けた取組みとか、万博を盛り上げるための事業とかにも皆様と力を合わせて取り組んでいきたいと思っております。

お手元の参考資料４でお配りしておりますけれども、万博につきましても本日の会

議の最後に私の方からお話しさせていただければと思います。カラーのチラシが２種類入っているかと思っています。

また、来週の８月８日月曜日でございますけれども、区政会議の全体会議が予定されております。その場は皆様、御承知のとおり４０名弱という少し多くの人数になりますし、お時間も限られておりますのでなかなか御発言も難しいかと思っておりますので、ぜひ本日の部会におきまして皆様の忌憚のない御意見をたくさんいただきたいと思っております。区政運営の参考にさせていただきますので、ぜひどうぞよろしく御協力をお願い申し上げます。

それでは、簡単ではございましたけれども開会の御挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○遠藤総合企画担当課長代理 本日の保健福祉部会の開催状況でございますが、委員定数１４名中９名の委員の御出席をいただいておりますので、本部会が有効に成立している旨、御報告申し上げます。

それでは、資料の確認をさせていただきます。

なお本日は、当部会に関係のある資料のみ使用させていただきます。

まず、事前にお送りさせていただきました資料として本日の次第、資料１として「令和３年度東成区運営方針（市様式）」、資料２として「令和３年度東成区運営方針課題別取組状況」、資料３として「全体会欠席者の方用の議題に対する質問・意見票」です。

次に参考資料の確認をさせていただきます。参考資料１は名簿です。参考資料２は昨年１２月の会議でいただいた質問・意見に対する対応状況。参考資料３は区制会議のオンライン参加について。参考資料４は大阪・関西万博の関連パンフレットです。

当部会では資料２、「令和３年度東成区運営方針課題別取組状況」を中心に説明させていただきます。

また、机上には配席図と、会議終了後に御提出をお願いするアンケートを配付して

おります。

資料は以上となりますが、不足はございませんでしょうか。

ないようですので進めさせていただきます。

本日は、今年度最初の区政会議保健福祉部会となります。区政会議は、区民の方々が区の行政運営に参画する仕組みです。区長が区の行政運営に当たって、計画段階から幅広い分野の区民の方々の意見を伺い、施策を推進していくこととしております。

また、区政会議ではテーマに基づいて3つの部会を設けており、この保健福祉部会では「地域福祉の推進」、「健康づくりの推進」について専門的な意見交換を行うこととしております。

それでは、委員の皆様を紹介させていただきます。

本日は、時間の都合がございますため、資料に基づきまして名簿の確認で出席者の皆様の紹介に代えさせていただきます。

では事前送付資料がございます参考資料1、4ページを御覧ください。

保健福祉部会の委員の皆様です。

続きまして、本日お配りしました配席図を御覧ください。

本日の欠席の委員につきましては、配席図の下部に欠席と記載しております。

続きまして、区役所職員の紹介です。

こちらも先ほどと同じく、配席図の確認をもちまして紹介に代えさせていただきます。

続きまして、会議の進行上の注意事項を申し上げます。

まず、当区政会議の部会は条例により公開することとなっておりますので御了承をお願いします。

区役所で会議の記録を残しておくため、広報担当者を決めております。広報担当者によります会議中の撮影につきましては御了解をいただきたいと存じます。撮影した写真は区の広報で使用させていただきますので御了承をお願いいたします。

また、本日の会議内容は後日、議事録を公開する予定でございます。

続きまして、新型コロナウイルスに関する御協力をお願いします。

感染拡大防止の観点から、会場内の換気として扉の開放等を行っていますので御理解いただきますようお願いいたします。なお、会議中、体調がすぐれなくなった場合等は御遠慮なくお申し出ください。

最後に、会場にお越しの皆様をお願い申し上げます。携帯電話は電源をお切りいただくか、マナーモードにさせていただきますようお願いいたします。また、会場内での通話は御遠慮いただきますよう合わせてお願いいたします。

それでは、以降の進行を若村部会長、小泉副部会長をお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

○若村部会長 それでは、私、若村でございますが、皆様、こんばんは。若村でございます。

それでは、お隣の小泉副部会長さんと共に頑張ってまいりたいと思いますので、どうかよろしくお願いいたします。

皆様、お忙しい中、またコロナが蔓延している中ではございますが、多数御出席いただきまして誠にありがとうございます。

それでは、令和4年度第1回保健福祉部会の議題に入りたいと思います。この部会は「地域福祉の推進・健康づくりの推進」の分野について、皆様方が意見や提案を述べる会議となっております。皆様方からの忌憚のない御意見や御提案をしていただき、今後の区政運営の方向性について考えていく大切な場となります。できるだけ前向きな御意見をいただき、有意義な会議にしていきたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

早速ですが、本日の議題について区役所より説明を受けていきたいと思います。

議題の「令和3年度東成区運営方針の振り返り」について、続けて説明していただき、その後、委員の皆様の御意見や御質問等をお聞きしていきたいと思います。

なお御意見や御質問をお聞きする時間ですが、前半１５分程度、勉強会として議事録に残さない意見を、意見交換が行える時間を設け、その後、部会としての意見をまとめていきますので御協力よろしくお願いいたします。

それでは、御説明をよろしくお願いいたします。

○平井保健福祉課長　皆さん、こんばんは。保健福祉課長の平井と申します。そうしましたら資料の方は資料２と書かれている、「令和３年度東成区運営方針課題別取組状況」を取り出させていただきますでしょうか、その３７ページを開けていただきましたらそこから、３７ページと３８ページのところが我々、本日、御説明させていただく箇所となっておりますのでよろしくお願いします。

そうしましたら３７ページの課題３、「地域における協働による保健・福祉への取組」と書かれている分でございます。そのまま座って御説明させていただきます。

誰もが健やかに自分らしく安心して暮らし続けられるよう、地域全体で見守り、支え合う体制づくりに取り組んできています。これが具体的取組３－１－１と書いてあるところでございます。

それで、地域福祉活動サポーターによる要援護者等への支援件数につきましては、目標５，０００件以上に対しまして、実績が６，３０８件ということで目標を達成しているところではございますが、要援護者が抱える課題はより多様化・複雑化・深刻化していることから、引き続き身近な地域で見守り、専門職との連携を進めていくことにより必要な支援につないでいくことが重要になってきているところでございます。

ということで、具体的取組と書かれているところの内容をもうちょっと具体的に御説明させていただきます。「在宅医療、介護連携推進の取組」では、医師をはじめ訪問看護師やケアマネジャーなど、たくさんの専門職の人たちが昨年に引き続きWebを活用して研修会等を行うとともに、コロナ禍が少し落ち着いていた時が昨年度にはありましたが、その時には集合型の多職種連携会も開催して、新型コロナウイルス

感染症への対応に関して専門職間で必要な情報共有や意見交換も実施してきているところでございます。そういったいろいろな取組みが50回、行われたという形の分になっています。

それから、知って得する連続講座という地域向けの啓発講座につきましては、昨年に引き続いてDVDを活用しての飛沫防止や人数制限など感染防止に努め、地域の理解、協力もいただきながら開催をやってきております。その辺りが合わせて50回という形になっています。

それから2つ目のポツですが、事業者や専門職の方と課題解決に向けた意見交換を行う場として、高齢者施策につきましては地域包括ケアシステム推進会議というものを開催しておりまして、障がい者施策につきましては、東成区地域自立支援協議会を開催いたしまして意見交換等を行っているところでございます。

そして、今後の地域福祉活動の活性化のためにはLINEなどを活用した情報発信の充実等に積極的に取り組んでまいります。

参考に、下の方に地域福祉活動の取組みの例という形で、ふれあい喫茶や食事サービスの時の写真を掲載させていただいておりますが、この地域福祉活動につきましては、これを行うに当たって感染予防対策を徹底して、少人数での開催とか予約制とかを導入したり、各地域で実施方法の検討を重ねていただいて人と人とのつながりを絶やしてしまわないよう創意工夫を凝らして実施しているところでございますが、人が集い触れ合うということで対面でのコミュニケーションが基本となる地域福祉活動は、コロナ禍においてはどうしても大きな制約を受けてしまうことが課題となっているところでございます。

以上が、この分野についての御報告になります。

○世古児童・保健担当課長　　続きまして、児童・保健担当課長の世古でございます。

私の方からはお手元の資料38ページ、「具体的取組3-2-1、ライフステージに応じた健康づくり事業」について御説明いたします。

この事業は、区民の皆様が住み慣れた町で健康に住み続けることができるよう健康寿命の延伸をめざし、区民の方が主体的・継続的に健康づくりに取り組める状態をめざすということで取組を進めているところでございます。

まずは資料の上段、令和3年度達成状況のうち、【具体的取組】の方から御説明したいと思います。

まず1つ目ですけれども、食育講座についてです。令和3年度につきましても、若年層である中学生を対象に食育講座を3校に向けて実施いたしました。区内には4校ありますけれども、残りの1校はコロナの感染拡大がちょうどひどくなった時期だったので、残りの1校は今年度にさせていただくということでお話を進めてきたところでございます。

この食育講座につきましては、東成区食生活改善推進員協議会の皆様と共に「朝ごはんの大切さ」をお伝えさせていただきまして、健康づくりの基本である食生活を振り返っていただく機会となっているところでございます。

次にポツの2つ目ですけれども、生活習慣病予防の正しい知識の普及啓発の場として「みんなの食育&健康セミナー」を実施いたしました。食育と運動体験などの健康づくりを併せたイベントを初めて開催させていただいたところです。

開催の様子につきましては、食育の分も含めて写真が載っています。子育て層を中心に壮年期や高齢者の方まで、比較的幅広い年齢層の参加につながったと思っています。

今後、イベント参加によって気づいたご自身の生活習慣や、食生活の疑問点について、その場で相談できる仕組みを検討することも考えさせていただいておりまして、ちょうど前回のこの部会でそういった御意見もいただきましたので、今年度の取組の中で工夫をしていこうと考えているところでございます。

それから、ポツの3つ目になりますけれども、高齢者の方の介護予防として地域で展開している「いきいき百歳体操」についてです。コロナの関係でどうしても休止会

場がございましたが、休止会場の再開、活動いただいているところについても活動の継続に向けた取組といたしまして、会場に保健師がお邪魔をさせていただくというふうなことで、感染防止であったり無理なく取り組んでいただくための助言であったり、といった事をさせていただき、皆さんが取り組んでいただくことに対しての後方支援をさせていただいている状況でございます。そういったこともありまして、令和4年3月時点では19グループが再開ということで、大変うれしい状況になっておりますけれども引き続き、やはり活動継続のための御支援であったり、とても大事な部分である感染予防の正しい知識や情報の周知については、今後も重要な取組みと位置付けて実施してまいりたいと思っているところでございます。

それから、4つ目のポツになりますけれども、高齢期・壮年期向けの啓発リーフレットや健診案内の保存版というものを作成させていただきました。区内の郵便局や薬局に置いていただければなと思っております、郵便局や薬局でちょっとした待ち時間がある時に少し手に取っていただくことで、御自身の生活習慣を見直したり、特定健診やがん検診を受けるきっかけづくりとしていただければなと思っております、今年度、各薬局や郵便局への配架に向けて順次お願いしているところでございます。

こういった取組を進めさせていただいた結果、資料の上段、業績目標というところになります、健康づくりに関する取組に興味を持つ方の割合は85%という水準を維持している状況でございます。こういった数字に決して満足することなく、幅広く今後も展開していければと思っているところでございます。

説明は以上になります。どうぞよろしくお願いいたします。

○若村部会長 ありがとうございました。平井課長、世古課長さん、ありがとうございました。

それでは、令和3年度東成区運営方針の振り返りについて区役所から御説明いただきました。

まず、自由な意見交換の時間として勉強会を15分程度したいと思います。勉強会

の間は議事の記録はいたしませんので、各議題についてもう少し詳しく御説明をお聞きしたい場合や、もっとこうすればよりよくなるのではというような前向きな御意見をどしどし出していただければと思います。そして、自由な意見交換ができましたら最後に部会としての意見集約をいたします。

それでは、ただいまより勉強会を始めます。

<部会での自由な意見交換>

○若村部会長　冒頭に申し上げましたとおり議事の記録を再開して、部会の意見としてまとめて皆さん、全体部会でまた発表させていただきたいと思います。

これは、どういうふうにまとめをさせていただいたらよろしいでしょうか、一応、ホワイトボードにお書きいただいたんですが、多職種連携会ですね、成果はコロナ患者さんの対応に活かされた。在宅医療の問題として、認知症、独居老人の方の問題ということですね。脳トレとか、認知症予防は体操、歩くことも大切ということです。支援件数はまだまだ低い、地域福祉活動サポーターの、ということですね。地域でこういう関係が本当に大切ということです。百歳体操、ストレッチ運動教室を開催、スクワットは有効。区内4中学にて、今年は3校、中学1年生を対象。食育としては、高脂肪食には注意ということで。乳がん、大腸がん検診。グループホームは医療機関との連携が重要、訪問医療はニーズがあればすぐに利用できる。往診のハードルは低い。

この中で、まとめた方がよろしいですね。1つ地域福祉の推進について、地域福祉と言いますと件数がまだまだ低いということで、人数であればいいですけど件数としてのあれがまだ、これがまだ皆さんに周知されていないことのあれでしょうかね、人数が少ないということは。でも要支援者が少ない、訪問、相談。これは、地域福祉サポーターとおっしゃるのは、いこいの家にいらっしゃる方ですね。

○平井保健福祉課長　　いこいの家とかにおられる方です。もちろん相談とか、いろいろ。

○若村部会長　　相談も1件と数えてなさっていますね。

○平井保健福祉課長　　もちろんそうです。

○若村部会長　　御訪問していただくのも1件。

○平井保健福祉課長　　はい。

○若村部会長　　70歳になった時に何かいただくんですけどか、パンフレットみたいなものを入れてもらって。

○平井保健福祉課長　　送らせてもらって、毎年70歳になった方には、地域の活動とかそういうものにも取り組んでくださいというようなことで、そういう周知のビラをまかせていただいています。

○若村部会長　　だから、もうちょっとここを、ここが多いということは、多い方がいいんですか、そういうことで。なかなか難しいですね、これは。5,000件以上が目標という、この目標とは、どういう目標でしょうか。

○平井保健福祉課長　　これまで取り組んできた回数よりも、もう少し多めというようにところで5,000という数字を設定させていただいて、それをここ三、四年は達成してきているということですけども。

○若村部会長　　達成はできているから、もっとより多くという意味ですか。

○平井保健福祉課長　　なかなか、先ほども会長も言っておられましたように、単純に多ければいいという話でもない。対象者、全員に声かけをしていくとか、そういうようなことだったら、65歳以上の方が何人いて、その内の何件、相談を受けているから、とかいうようなカウントになるかもしれませんが、相談が。

○若村部会長　　相談があった方、お1人についてということですか。

○平井保健福祉課長　　そういうことではないです。それはそういうようなカウントじゃなしに、相談とか、困った人がおられたらその人をサポートして、例えば専門職

につなぐ人がいれば専門職の方につないでいくとか、そういうような形で取り組んだ件数が、丸々含めて6,000件ありますよというような形なので。

○岩崎委員　そのところ、新規率が多ければいいと、多かったらどんどん困っている人が多いことになっていきますけど、例えば、支援件数増加による効果は大きいと、まだまだ低いと書くとあれなので、支援件数増加の効果は大きいと、よって地域での声かけは大切だと。そういう形にしたらどうですか。

○若村部会長　そうですね。この流れでね、ありがとうございます。そういうことです。

あとは地域で支える、在宅、やっぱり在宅ですね。在宅医療が、ここが大事ということですね。ここの充実ですかね、在宅で医療、ずっとお家で診たいということは、これは、お一人の場合は認知症とかがあるとやはりどこかにつなげてあげないと、ということになりますね。ここにつながってきますね。2つぐらいでしょうかね。

そうしたら、健康づくりの方でいってよろしいでしょうか。やっぱり食育が、これがすごく重要ということですね。

○東委員　すみません、今、区内3中学校にてと書き直していただきましたけども本当は4でいいです。

○若村部会長　4でいいんですね。1校ができなかったということですね。

○東委員　まだできていない。

○若村部会長　今からということですね。

○東委員　これからです。

○若村部会長　学校の食育に重なって、高脂肪食への注意ということですね。

百歳体操、ストレッチ、この辺も混同ということでまとめさせていただきます。よろしく願いいたします。1つにまとめさせていただいて。ということで、本当に運動は大事、その辺も、この辺と、ということでこんな感じでよろしいでしょうか。大丈夫でしょうか。

何か他に付け加えていただきたいことがあれば、よろしいでしょうか。全体の意見として、ここの会の意見として、また全体会議で申し上げさせていただくもののまとめを、あと細かく取りまとめをさせていただいたらと思います。

よろしいでしょうか、それでは、この感じで部会の報告とさせていただきます。長くなりましたけども、皆さん、円滑な議事運営に御協力いただきましてありがとうございました。すごくコロナ禍の中ですが、皆様、また気を付けていろいろな活動に従事していただければなと思っております。

本日の議題は以上で終了し、区役所の方に進行をお願い申し上げます。ありがとうございました。

○遠藤総合企画担当課長代理 ありがとうございました。スムーズな議事進行に御協力いただきありがとうございました。

本日、皆様方からいただきました御意見につきましては、区政会議全体会におきまして若村部会長より御報告していただきたいと思います。

続きまして、議題ではございませんが区長より大阪・関西万博について御案内させていただきます。

○御栗区長 区長の御栗でございます。皆さん、いろいろな御意見を頂戴しまして本当にありがとうございました。

最後、少しお時間をいただきまして万博に係るお話をさせていただければと思います。お手元の参考資料4ということで2つ、カラーのチラシをお配りしているかと思います。そちらを見ていただきながらお願いします。先月、7月18日の月曜日は祝日、海の日でございましたけども、この日が大阪・関西万博開催まで1,000日前ということで、オリンピックと同じようにいよいよカウントダウンが始まっております。

トレードマークは決まっていたけど、こういうキャラクターが、画面を見ていただいて、万博のキャラクター、皆さん御存知だと思いますけど、こちらの愛称が「ミ

ャクミャク」と決まっております。心臓の脈の脈というところと、あといろいろな伝統や文化を未来に脈々と続けていく、つないでいくとかいう意味だと思いますけど、こういう形でどんどん万博の気運を盛り上げてという段階になっておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

お手元のチラシ、A4の「2025年、大阪・関西万博が開催されます」というチラシを見ていただければと思いますけれども、今回の万博、「いのち」をテーマに掲げて取り組まれています。大きなテーマが「いのち輝く未来社会のデザイン」ということで、サブテーマも3つありますけれども、これの（1）が「いのちを救う」、（2）が「いのちに力を与える」、（3）が「いのちをつなぐ」ということで、いのちが大きなメインテーマになっているという形になります。裏を見ていただいて、この万博は実際に万博会場へ行っていただいて、いろいろと見ていただくという従来型のものにプラス、3つの事業が準備されています。その内の1つ、一番上に書かれていますのが未来社会ショーケース事業。未来のいろいろな技術と言いますか、それを実際に体験していただくというようところで準備が進められています。一番有名ところで言うと空飛ぶ車という、皆さん、テレビなどでよく御覧になることはあるかと思いますが、そういったものや、あとは医療関係であるとか、いろいろなところが準備されています。

真ん中に書いてありますのが、バーチャル万博ということで、ネット上のバーチャルの世界でも万博あるいは大阪を体験していただくということで、そういったものも準備しています。

一番下に「TEAM EXPO 2025」プログラムと書いてありますけれども、こちらはもう1つのチラシ、A3見開きのものを配らせていただいておりますけど、こちらを少し見ていただければと思います。「つくろう。みんなで。EXPO 2025」という大き目のチラシがあるかと思いますが、皆さんのカラーだと思いますけれどもこちらを広げていただいて、中のところですけども分かりますかね。「みんな

がつくるワクワクが、きっと未来の社会にかわる。TEAM EXPO 2025」
ということで、左下の方で見ていただいたら、大阪・関西万博はここが違うということ
とで書かれています。先ほども少し触れましたけども、前にやられた大阪の万博、千
里へ行かれて、会場へ行って国とかいろいろな企業とかのパビリオン、そういう展示
をたくさん見るのが中心だったと思いますが、今回の万博は、冒頭少し触れましたけ
ども、そういった会場に行ってみ学・体験することだけではなくて、皆さんにも参画
していただく、参加していただくということで、今までとは違うスタイルがめざされ
ています。

大阪・関西万博ここは違うということで、円の図が書いてありますけれども、先ほ
ど申し上げた3つの事業も書かれています。その右側に、共創チャレンジということ
で、共に創るチャレンジという説明がありますけれども、ここが皆さんに御参加いた
だいてという部分になってきます。SDGsの達成に向けた活動であるとか、万博を
広く伝えるものであるとか、そういったものを、どんなことをされているかを登録し
ていっていただいてというような流れになります。

SDGs、こういう、皆さんよく御覧になっているかと思いますが、マークでいき
ますと、こういう17色の円と言いますか、サークルと言いますか、これもよく御覧
になっていると思います。こういう図も、17つのパネルが書いてありまして、これ
が17つの目標ということでGOALSという形になります。それからSDGsとい
うことでは東成区、実は私の前任の麻野区長の時から随分、力を入れてやっていまし
て、私になりましてからこういう、東成SDGsのロゴマークなんかも作らせていた
だいています。17個の円と、それからここに東成区のキャラクターのうりちゃんがい
ますけども、真ん中が吹き出しになっていまして、うりちゃんが東成SDGsを言
っているという絵になっていますけど、真ん中の吹き出しの形も、これも皆さん見た
ことがあるなという形やと思いますけど、東成区の地形なんですね。17色のサーク
ルと、うりちゃんが東成区の図柄を見出しにしまして、みんなで東成SDGsに頑張

りましょうという、あとトレードマークも作らせていただいたりしています。

S D G s も随分浸透してきておりまして、毎年、区民アンケートを取らせていただいていますけども、1年前はS D G s という言葉を知っていますかという問いかけに関しまして区民の皆さんの答は、25%の方がその言葉を知っているよという回答だったのですが、昨年アンケート、つまり令和4年2月、今年の年明けの2月に取りました同じアンケートでいきますと、S D G s という言葉を知っているよという区民の方は75%になっています。1年間で25%から75%まで知っている方が増えてきている形になっています。ただ、横文字ですので非常に難しいようなイメージもありますけれども、そんなに難しく考える必要はありませんでして、17つのG O A L s の内の、例えば何個か例を挙げますと、3番目のG O A L でいきますと「すべての人に健康と福祉を」というテーマになります。これでいきますと、まさに今日、御参加いただいている皆さん方はこの分野で、東成区の最前線で頑張っている皆さんだと思えるんですね。区政会議の、この場に参加いただいて我々にいろいろな意見、示唆していただいていることも、本当にS D G s の、3番のG O A L に向かって皆さん、協力いただいているというような、活動いただいていることになると思います。

例えば4番でいきますと、「質の高い教育をみんなに」というようなことになりますけど、これも出てきますと、先ほど出ました食推協さんの、中学生向けの食育講座もまさにこれに当たりますし、母子会さんのところで乳幼児向けのいろいろなことをやっていただいくとかいうようなところもそうですし、あと地域のところで小学校の子どもらの見守り活動とか、学校へ訪問しての出前授業であるとかね、そういったものも全部S D G s 、4番のG O A L になるかと思います。

11番の図、「住み続けられるまちづくりを」とありますが、これなんかまさに皆さんがやっていただいているところだと思います。いろいろな分野、いろいろな役どころで東成区で区民の皆さんが、住み慣れた東成区で長く安心して安全な状況で住み続けられるまちを作っていこうということで、皆さん、御協力いただいているかと思い

ます。

あと12番、「つくる責任、つかう責任」とかでいきますと、企業とかでモノづくりをされている方は作る側ですし、消費者という立場でいきますと皆さん、使う側になるわけですが、リサイクルとかリユースとかリデュースとかも、使う量を減らすとか、そういった環境にいい活動を皆さん、いろいろとされていると思うんですよね。エコバッグなんかもそうだと思いますけれども、そういった活動は、本当に皆さん、いただいていると。

それから17番の「パートナーシップで目標を達成しよう」なんていうことになりますと、医師会から出ていました多職種連携のお話であるとか、そういったところもしっかりSDGsというところで貢献いただいていることになるかと思います。

万博に絡めて共創チャレンジというようなお話もありましたけれども、今、区役所でいろいろと準備していつていきますけれども、東成区としてSDGsの活動状況を、いろいろな団体さんとか、学校とか病院もそうですけれども、宣言していただく制度と言いますか、そういったものも準備しておりますので、ぜひ皆さんにも御参画いただいて、東成区のみんなで力を合わせて大阪・関西万博、それからSDGs、2025年と何回も繰り返しお話してはいますが、私たち東成区の100周年でもありますので、そういった形で区全体を盛り上げていきたいと思っておりますので、また引き続き御協力をよろしくお願いしたいと思います。

いろいろなものが整い次第、また皆さんにもお知らせしてまいりますのでよろしく御協力をお願いしたいと思います。まずもって、本当に皆さんには区政会議、この場に御参画いただいて、我々にいろいろと助言、示唆をいただいておりますので、それをしっかり区政の方に反映していきたいと思っておりますので引き続きよろしくお願いします。

長くなりましたけど、本日は本当にありがとうございました。

私からは以上でございます。

○遠藤総合企画担当課長代理 区政会議全体会は8月8日14時から、コミ協東成

区民センター２階大ホールにおきまして予定しておりますので、御出席方よろしくお願ひいたします。また、全体会で使用します資料は本日と同じものになりますので、当日お持ちいただきますよう併せてお願ひいたします。

最後にお手元にお配りしています、アンケートへ御記載いただきますよう、お願ひいたします。

それでは、本日はこれを持ちまして終了させていただきます。どうもありがとうございました。

○御栗区長 ありがとうございました。